福井藩奥女中の諸手当 (松平春嶽附、1869年)

職階	切米 (両)	諸道具 代(匁)	鯛代 (文)	餅上白米				扶持	薪 (束)	炭 (俵)	湯木 (束)	油 (ツ)	五菜 銀 (匁)
				3月 (升)	5月 (升)	10月 (升)	暮 (升)						
年寄	35	77	800	2	2.8	7	30	1人男 扶持 2人女 扶持	8	4	7	有明2 半夜1	80
若年寄	20	59.5	400	2	1	6	20	1人 1人	6	3	5	有明2 半夜1	57.5
中臈	17	39.65	400	2	0.8	5	18	1人 1人	6	3	5	有明1 半夜1	50
錠口	19	30	386	2	0.8	5	18	1人 1人	7	3	5	有明1 半夜1	50
表使	16 役金2	30	386	2	0.8	5	18	1人 1人	7	3	5	有明1 半夜1	50
右筆 次 (呉服之間)	10	30	386	2	0.6	5	15	1人 1人	7	3	5	有明1 半夜1	40 次は 35
三之間 末頭	7.5	26	400	2	0.6	4	15	1人 1人	4	2	3	有明1 半夜1	25
中居	4.75	20	348	2	0.6	4	15	1人	3	2	2	半夜1	15
使番	4 勤金1.75	14.5	-	2	0.4	2.6	10	1人	2	2	1	半夜1	15
半下	3	11.57	-	2	0.4	2.6	10	1人	2	-	1	半夜1	8

注1 「福井藩職員録」松平文庫A0143-01322、「大奥女中分限帳」松平文庫A0143-01332、当館保管による。

2 これ以外に、女中個人に給付される足金・失脚金等がある。

3 「年寄」には、これ以外に年限中手当が6両。江戸城大奥にあがる城使を務めたときには12両に増額。

4 「三之間」以下は、御目見以下である。